

株式会社三永電機製作所

劇場から研究機関まで オーダーメイドの光源を提供

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



劇場やテレビ局向けの演出用照明

主な事業内容

演出用および各種産業用
光源装置の製造・販売

主な取引先(納入先)

主要劇場やテレビ局、教育・研究機関、
大手電機メーカーや素材メーカー

主な製品

産業用光源装置、
演出用照明装置

業務 内容

演出用照明、 産業用光源の両方で強み

劇場やテレビ局向けの演出用照明と研究機関向けの産業用光源装置を手がける。劇場向けの演出用照明としては、戦後日本の映画館の発展を陰から支え、国内の劇場向けで90%超のシェアを誇る。現在は中国や韓国、東南アジア向けの販売が主力だ。

一方で産業用光源装置では、ソーラシミュレータ(疑似太陽光照射装置)を太陽光パネルの性能評価やバイオ分野の研究開発向けなどに展開している。他にも半導体業界向けのUV露光装置用光源や、新幹線の軌道検査に使う照明など、製品ラインアップは幅広い。光の質を柔軟に調整できるノウハウを生かして、顧客のニーズに込めている。

強み キセノンランプの水平点灯を 世界に先駆け実現

社員数を二十数名程度に抑え、顧客の要望に素早く対応できる開発・生産体制を維持している。創業時、キセノンランプを水平点灯できる技術を世界に先駆けて実現し、キセノンランプによる映写装置を商品化した。当時、映写光源として使われたカーボンアー

クランプは、火災発生時のリスクが大きかったことから、同装置の商品化が安全な光源としてのキセノンランプ普及のきっかけになったといえる。

その後は大手照明機器メーカーの照明製品の設計開発を手がけつつ、同社経由で自社製品の販路も拡大。1980年代以降は、光を演算や通信、エネルギー源などとして利用するオプトエレクトロニクスなどの産業用に参入して、製品ラインアップを増やしていった。

他社連携で LED対応を強化

顧客のニーズに応じた多品種少量生産を続けたため、これまで他社との連携は少なかった。だが今後は製品開発のスピードを速めるため、国内外の企業と連携を強化する方針だ。技術連携を進めることで、省エネで低ランニングコストのLED照明を活用した産業用光源装置の新製品開発を進めている。また販売においても他社との連携強化を進めている。

演出用照明は、中国メーカーと組んでLED化を進め、拡大が続く中国市場向けで攻勢をかける。国内・海外の両輪で新製品開発と販路拡大を進める計画だ。

社長あいさつ



代表取締役社長
ながつか

永墓 宏光さん

社員一人ひとりの面倒をしっかり見るため、社員数を増やさない経営を続けてきました。その体制は、部品の内製率を高めて強みを発揮した反面、外部連携の少なさという課題も生みしました。今後は他社とのネットワーク構築を進め、業種や分野を問わない光源メーカーを目指します。

主な保有設備

- ターレットパンチプレス
20t アマダ製 1台
- NC(数値制御)旋盤
φ200 オークマ製 1台
- NCフライス盤
1,050×500×500mm
山崎技研製 1台
- ベンダー
1,300mm×35t、2,000mm×50t
アマダ製 2台

大阪
01

住 所／〒533-0006
大阪市東淀川区
上新庄3-19-50

T E L／06-6379-0010

F A X／06-6379-0070

創 業／昭和39年9月

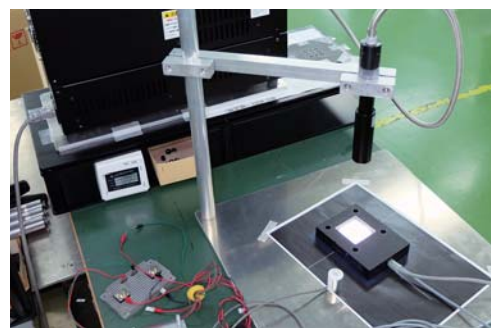
設 立／昭和53年9月

資本金／2,000万円

従業員／24名



新幹線の軌道点検車両に供給する照明装置



小型のソーラシミュレータ

<https://www.san-eielectric.co.jp/>

